



「頑張り合い」が生まれたクラス

先生 みんな、いよいよ卒業だね。高校最後のクラスはどうだった？

生徒 私たちのクラスは団結力が強くて、体育大会などで好成績を収めてきましたし、ほかのクラスの人から「みんな仲がいいね」とよく言われていたんですよ！

先生 実際、とても明るいクラスで、先生も教室に行くのが毎日楽しみでした。体育大会や文化祭では、「自分たちでやると決めたことは、自分たちの責任でやり抜こう」という意識をみんなが持っていたから、先生はただ、頑張るみんなを見守る日々だったよ。

生徒 確かに先生から「こうしなさい」と指示されることはありませんでしたが、「これ、やってみたら？」とチャレンジを提案されることはよくありました。私の場合は、英語のスピーチ大会への出場です。内心、興味はあったけど、一步を踏み出せずにいました。でも、先生のひと言で大会に出て、それがきっかけで、いろいろなことに挑戦するようになったんですよ。

生徒 私は志望大学の相談をした時、想定外の高い目標を「力があるのだから、挑戦してみたら？」と勧められました。先生と話すうちに、「可能性があるなら

……」とやる気になったんです。その大学には合格できなかったけど、自分とは無縁だと思っていた未知の世界を垣間見られて、挑戦してよかったと思っています。

先生 若い君たちには、自分では気づいていないけど、先生だからこそ見えてくる可能性が秘められていると思うんです。その可能性に気づかないまま高校生活を終えるのはもったいないよね。生徒一人ひとり、可能性の種類は違うけど、それをちゃんと見つけて、伝えていくのも先生の仕事だと思っています。

生徒 普段は、私たち一人ひとりのことをじっくり見守りながら、くだらないおしゃべりの輪にも笑顔ですっと加わってくれる。高田先生は、「みんなの先生」であり、「私の先生」でした。先生がいなかったら、高校時代、いろいろなことにあれほど頑張れなかったかも……。 「頑張り」と言われたことはなかったけど、先生がいたからみんな頑張れたんだと思います。

先生 みんなが頑張る姿を見て、「よし、自分も頑張ろう」とパワーをもらっていました。だから本当に、みんなとの時間が楽しかったんだよ。先生からもみんなにお礼を言いたいです。ありがとう！

高田裕治先生 教職歴15年。同校に赴任して14年目。進路指導課長。

山口県・私立野田学園中学・高校 全日制／普通科／共学／1学年約300人／2017年度入試合格実績（現浪計）国公立大は、大阪大、山口大、九州大などに67人が合格。私立大は、同志社大、立命館大、関西大、関西学院大などに延べ243人が合格。